

絶滅危惧類 ユキノシタ科

シラヒゲソウ

Parnassia foliosa Hook. f. et Thoms. var. *nummularia* (Maxim) T. Itô

【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少

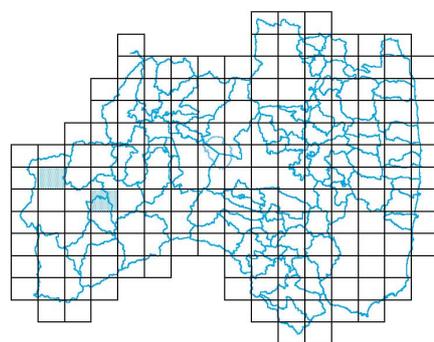
【形態】 多年草。3～8個の花茎と数個の長い柄のある根出葉を束生する。花茎には4～6個の無柄で多少茎を抱く葉をつける。葉身は広卵形で基部は深い心形、長さ幅とも1.5～4cmでウメバチソウの葉に似る。花期は8～9月。花は径2～2.5cm、がくは卵形。花弁は長さ9～12mm、基部に短い柄がある。花弁と対生する位置に仮雄しべがあり、長さ3～4mm、先は3深裂し、裂片の先に小球状の黄色の腺体がつく。柱頭は4裂する。

【分布】 本州、四国、九州に分布する。

【県内の分布、生育状況】 会津地方の南部の一部の地域に分布し、溪谷や河川の湿った草地や岩場にごくまれに生育している。

【生育に影響を与えている要因】 園芸採取、河川開発

【特記事項】 生育地の環境を保全するとともに、鑑賞のための採取・販売・栽培をしないことが望ましい。



絶滅危惧類 ユキノシタ科

ザリコミ

Ribes maximowiczianum Komarov

【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少

【形態】 落葉低木。幹はよく分枝し、高さ2m。樹皮は灰色で、若枝ははじめ軟毛と腺毛が生え、のちに縦方向にはげて灰紫色となる。葉は腺毛のある柄があり、葉身は三角状卵形、基部は浅い心形か切形でうすい草質、経2.5～5cmで掌状に3～5中裂し、裂片は先が三角形状でとがる。花期は5月。雌雄異株。花序は総状で雄花序は7～10花、雌花序は2～4花、花は帯黄色、がく裂片は楕円形でほとんど合着せず、無毛。液果は赤色。

【分布】 本州(東北地方南部～中国地方に点在)・四国、朝鮮・中国(東北)に分布する。

【県内の分布、生育状況】 中通り地方や会津地方の限られた地域に分布し、高地や深山の林内にまれに生育している。

【生育に影響を与えている要因】 産地局限、森林伐採、道路工事

【特記事項】 生育地の環境を保全することが望ましい。

